

高齢者の回旋偏位の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2025年2月20日 ～ 2027年3月31日

〔研究課題〕

高齢者の回旋偏位の検討

〔研究目的〕

加齢性の変化により引きこされる回旋斜視である sagging eye syndrome (SES) は微小な斜視が多く、本人が複視と自覚しないことがあります。複視の訴えではなく、ダブって見える、歪むなど不定愁訴のような訴えをすることがあり、斜視として見逃しやすい病変の一つです。成人患者様の回旋偏位を調べることで、患者様本人が加齢の変化として見過ごしていた隠れた斜視 (SES や SES の前段階を含む回旋斜視) が高齢者にどの程度含まれているかを検討したいと考えています。

〔研究意義〕

複視の訴えがない高齢者に回旋偏位がどの程度含まれていて、どの程度の斜視角なのかを明らかにしたい。高齢者の回旋偏位を明らかにすることで斜視を補正するプリズム眼鏡治療の一助となると考えています。

〔対象・研究方法〕

2020年1月1日～2024年12月31日において、帝京大学医学部附属病院眼科外来を受診した20歳以上の眼鏡あわせを行った患者様に対し、診療の一環で測定した大型弱視鏡や cyclophorometer の回旋検査の結果を後ろ向き研究として検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 眼科外来

〔個人情報の取り扱い〕

年齢、性別、検査結果のみとし、すべて個人情報等を加工し処理します。研究責任者は研究終了後、保管対象の記録類一式を封緘に詰め、倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにおいて、10年間保管の後に廃棄します。学会発表並びに学術論文として発表する際には、データを全て集計値とし、個人情報が公表されることはありません。研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 佐々木 梢 職名 係長
所属: 帝京大学医学部附属病院 眼科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 30327]